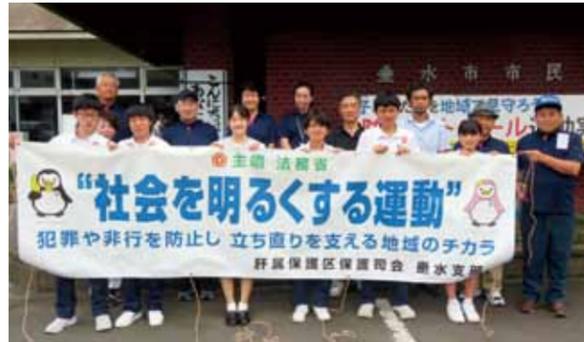


社会を明るくする運動
街頭キャンペーン

7月20日、垂水市内のスーパー3か所と道の駅たるみずはまびらで、肝属保護区保護司会垂水支部と垂水高等学校生徒会が合同で「社会を明るくする運動」の街頭キャンペーンを4年ぶりに実施しました。犯罪や非行のない地域社会を築こうとする「社会を明るくする運動」は、7月が強調月間となっており、同運動の周知活動を精力的に行いました。同会では、犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の相談・指導を行っています。また、犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでいます。



第35回豊かな海づくり放流祭

7月14日、海潟漁港で、第35回豊かな海づくり放流祭が開催されました。これは、水産資源の保護・培養や漁場環境の保全の意識高揚を図る目的で昭和63年から毎年7月に県内持ち回りで開催されているものです。当日は、協和小学校の児童や関係者約70人が参加し、マダイとカサゴの稚魚、あわせて2,000匹を放流しました。和田悠斗さん(同小6年)は「栽培漁業のことをあまり知らなかったけど、放流の仕方や大切さを知ることができて良かったです」と話しました。



商工会青年部が史跡・文化財を
清掃ボランティア

7月9日、海潟地区で、垂水市商工会青年部による史跡・文化財の清掃ボランティアが行われました。これは、市内にある史跡・文化財を多くの人が安心して訪れてほしいと同青年部が企画したものです。当日は、10人が参加し、同地区にある近衛信輔の腰掛石や菅原神社境内の桜島焼亡塔付近の草払い作業を行いました。作業は1時間程度で終了し、草木が切り払われてすっかりきれいになりました。読者の皆さん、史跡・文化財を訪れて、垂水市の歴史を学んでみてはいかがでしょうか。



垂水市高齢者クラブ連合会による
男性と一人暮らしのための料理教室

7月3日、新城地区公民館で、男性と一人暮らしのための料理教室が開催されました。これは、会話を楽しみながら、簡単に調理できる料理に挑戦することを目的に垂水市高齢者クラブ連合会が主催したものです。当日は、15人が参加し、慣れない手つきで6品目の料理を調理しました。なかには初めて包丁を握った参加者もいました。皆さんも高齢者クラブの仲間に入って、健康づくりを始めませんか。
【高齢者クラブ会員大募集！】下記までご連絡ください！
垂水市高齢者クラブ事務局(福祉課地域福祉係) ☎ 32-1115



4年ぶりに開催
鹿児島神社の六月燈

7月20日、鹿児島神社(通称:下宮神社)で、4年ぶりに六月燈が開催されました。六月燈は、旧薩摩藩領内の各地で行われる、無病息災・豊作を祈る夏祭り、島津家第19代藩主久光公が燈籠を奉納したことが始まりと伝えられています。当日は、約800人が来場し、六月燈を楽しんでいました。ステージイベントでは、垂水小学校金管バンドによる演奏や同神社の神職による舞の奉納などがありました。イベント協議会の岩崎強志さんは「4年ぶりに子どもたちの笑顔が見れてよかったです」と話しました。



垂水小学校金管バンド
金賞を受賞

7月15日~17日、20日~24日の8日間、鹿児島市で、第68回鹿児島県吹奏楽コンクールが開催され、垂水小学校金管バンドが小学生の部で金賞に輝きました。県内から37校が出場するなか、丸田欣範教諭の指揮のもと「旅立ちの歌/岩村雄太作曲」を、28人のメンバーによる美しい音色で演奏しました。部長の宮里璃子さん(同小6年)は、「昨年と同じ金賞を受賞できてうれしいです。今後は練習の成果を発揮できるように楽しく演奏したいです」と話しました。この度の受賞おめでとうございます。



垂水市高齢者クラブ連合会による
いきいき女性リーダー研修会

7月14日、垂水市市民館で、いきいき女性リーダー研修会が3年ぶりに開催されました。これは、女性会員の積極的な活動への参画を促すことを目的に垂水市高齢者クラブ連合会が主催したものです。当日は、41人が参加しました。脇田ノリ子さんが「女性と男性が力をあわせ、互いに足りないところを補っていきましょう」と挨拶されました。研修では、先進的な異世代交流の取り組みを行っている「潮彩町自由研修会」の事例発表や牛根地区の「おかめ会」による舞踊、ひょっとこ踊り等の披露がありました。



夏の交通事故防止運動
街頭キャンペーン

7月11日、道の駅たるみずはまびらで、夏の交通事故防止運動街頭キャンペーンが行われました。これは、夏の行楽期を迎えるにあたり、広く交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることによって交通事故の防止を図ることを目的としてしています。当日は、垂水幹部派出所、垂水地区交通安全協会、垂水地区安全運転管理協議会などの17人が参加し、連日の暑さによる運転者の体調なども考慮し、慎重な運転に心がけるよう呼びかけました。

